

目黒区立東山中学校創立 50 周年記念同窓会

- 記 -

開催日時 平成 19 年 11 月 10 日 15:00~17:00

会場 目黒雅叙園

待ちに待った創立 50 周年の記念同窓会が雅叙園の「舞扇の間」で開催されました。雨模様というあいにくの天気でしたが、約 730 名あまりの参加人数がありました。

司会進行を務めたのは、19 期生の篠原明子さんと同じく 19 期生の井上白葉さんでした。ちなみに、井上さんは、藤原歌劇団に所属するバリトンバスの声楽家ということです。同期生ならではの息の合った司会で宴が進行されました。

はじめに、平沢副会長から「今日は一日、楽しい会にしたいと思います」という開会宣言で宴会の幕が切って落とされました。順を追ってその流れをまとめました。

①会長あいさつ 伏原暉幸 同窓会会長

「50 周年おめでとうございます。今年 11 月 1 日で東山中学校は創立 50 年を迎えました。卒業生の数が 13,600 名を超えました。卒業生が各方面で大活躍しています。そして、私たちの孫が中学校に入る年令になっています。今からちょうど 10 年前の創立 40 周年のとき、なんとか同窓会を立ち上げて欲しいという要望を受け、各期の人たちの応援を得ながら世話役会を続けてきました。これからも努力していきたいと思います。」

②来賓のあいさつ 目黒区教育委員長 大塩晃雄様

「創立 50 周年の祝賀にお招きいただきありがとうございます。東山中学校は昭和 33 年、生徒数 133 人、教職員 10 人でスタートしました。今年が目黒区立中学校発足 60 周年でもあり、過日、めぐろパーシモンホールでその式典を行いました。昭和 22 年のスタート時は 11 校でしたが、東山中学校の誕生で 12 校になりました。そして最近までその学校数でやってきましたが、今年になり、二中、五中、六中が統合され目黒中央中学校となりました。今、区内中学の生徒の人数は 3,000 名くらいでしょうか。一番多かったときは 1 万人くらいいましたので、1/3 に減ってしまったことになります。子どもの数が減ったことが大きな原因です。東山中学校はこれからも存続させていくつもりです。長い歴史と文化を有する東山中学校に絶大なご支援をいただきたいと思います。最後に、皆さまのご健康とご活躍を祈念しあいさつとしたいと思います。」

③来賓のあいさつ 第八代校長 杉山光男様

「50 周年ということでおめでとうございます。私は昭和 61 年から平成 3 年までの 6 年間、東山中学の校長を務めさせていただきました。そのとき創立 30 周年を迎えました。周年事業の一つとして 30 年の記念誌を作りました。その中で、生徒の数のことを取り上げました。スタート時点の昭和 33 年は 1,004 名だったと思います。一番多かったときは 37 年で 1,655 名いました。現在は 500 名くらいではないでしょうか。約 1/3 に減ったことになります。卒業生に番号をふることになりました。私が担当した時代に 1 万人のナンバーが出ました。そのあと、少子化が進み生徒が減っていきました。卒業生が第一線で活躍していることをうれしく思います。卒業生は卒業時に同窓会費を納めることになっているのですが、その徴収が一時中断してしまったことがあり、同窓会の運営が危

ぶまれ困りました。何とか存続してもらいたい気持ちで卒業生の方に頼みました。学校は地元の人たちの協力がないと活性化していかないもので、皆さまの力が必要となります。今日この会に800名近い人が集合してくれたことを大変うれしく思っています。これからも、ますます生徒たちががんばっていけるよう、ご支援していただきたいと思えます。」

④来賓あいさつ 目黒区長 青木英二様

「このようなすばらしい同窓会になったことをうれしく思います。そのことに心から敬意を表します。私はいま52歳で、ここにお集まりの皆さまとほぼ同世代ではないかと思えます。今日のために長い歳月に尽力してくれたことを感謝申し上げます。私は目黒九中の卒業生ですが、中学校での学びは私たちの骨となり肉となり、またこころのふるさとでもあります。「三丁目の夕日」という映画を見ました。この映画は昭和33年を取り上げたもので、まさに東山中学校が誕生した年です。この時代は、向こう三軒両隣のすばらしい団結力をもっていました。同じような力とこころをもって、東山中学がこれからも長く発展していくことを願うものです。」

⑤乾杯の音頭 第十代校長 杉崎洋一郎様

「おめでとうございます」と乾杯の音頭が発声された。

⑥祝電の披露

本日、都合で参加できなかった村上忠敬先生からの祝電メッセージが披露された。

⑦学校の現況報告 目黒区立東山中学校校長 牛島正廣様

「50周年事業の一つとして10月27日に文化祭を行い、合わせて記念式典も開催しました。東山中学校はすばらしい学校です。文武両道の教育方針の成果を如何なく発揮しております。多くの運動部活が区の大会で優勝を果たしています。また、東京都中学校の駅伝大会では、昨年が3位、そして今年、まさしく今日行われた大会では準優勝することができました。」

⑧校歌斉唱

ブラスバンド部、音楽部による校歌演奏にあわせ、井上白葉さんのリードで校歌を歌いました。学び舎を思い浮かべ、あところに返ったひとときでした。

⑨手締め 現野球部監督 渡辺裕次様（14期生）

「後輩には東山中のユウジとして通っています。19歳から51歳の今日まで野球をやっています。世界の東山中学といわれるようにこれからもやっていきたいと思えます。」

渡辺さんの音頭で三本締めが行われた。

⑩閉会の辞 P T A会長 田村正夫様（17期生）

「楽しい時間は短いものです。東山中学卒業17期生として、こうしてあいさつができるのも何かの縁です。諸先輩の皆さまありがとうございます。この良き伝統を私たち親がこれから守っていきたいと思えます。先輩方の叱咤激励は私が受けます。今日のためにお手伝いいただいた方々に感謝いたします。なお、受付に募金箱を用意しました。これからの同窓会運営のため、資金のカンパをよろしく願いいたします。」

16:50に閉会になる。

以上